

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第67号	氏名	Juan Luis UGARTE CABO
学位審査委員	主査 大園 恵幸 副査 門司 和彦 副査 齋藤 俊行		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、高齢者の全般的健康状態を維持するために重要な口腔健康問題について、へき地高齢者の自覚的口腔健康観とその関連要因を検討し、その生活の質(QOL)改善を目指したもので目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 長崎におけるへき地高齢者に対し、口腔健康度の主観的指標としての自覚的口腔健康観、客観的口腔指標について調査し、統計学的に単変量解析、ロジスティック回帰分析にて解析しておりその研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、へき地高齢者において自覚的口腔健康観が悪いことは口腔に問題があっても受診しないこと、咀嚼能力の低下、義歯の不適合、残存歯があることなどが関連しており、その要因としてへき地での歯科へのアクセスの悪さが関連していた。口腔状態健康度の調査研究には歯の状態などの客観的指標に加えて自覚的口腔健康観による口腔健康度評価の重要性が示唆された。</p> <p>以上のように本論文はへき地高齢者口腔健康問題における公衆衛生学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			